

1 大学としての教員養成の目標

新潟県立大学は、国際性の涵養、地域性の重視、人間性の涵養を基本理念とし、新潟から世界に交流の輪を広げ、地域振興を担う中核的人材を育成することを目的として設置されました。地域振興のためには、次代を担う子どもの教育に携わる教員の養成はなくてはならないものです。新潟県立大学で取得できる教員免許状は、次のとおりです。

国際地域学部国際地域学科・・・中学校教諭一種免許状（英語）、
高等学校教諭一種免許状（英語）

人間生活学部子ども学科・・・幼稚園教諭一種免許状

人間生活学部健康栄養学科・・・栄養教諭一種免許状

「教育は人なり」といわれるように、質の高い教員の養成は、学校教育の充実と国家社会の発展のためにきわめて重要です。本学は、こうした教員養成の重要性を深く認識し、社会の急激な変化や学校現場のかかえる高度で複雑な課題に対応することのできる、豊かな人間性と高度な専門性を身につけた教員を養成することを目指しています。特に、教育の根本はヒューマンリレーションにあると考え、教職員と学生との人間的交流を大切にしながらきめ細やかな指導を行い、自己への深い省察力と他者との豊かな対話力を身につけ、教育の現場で中核として活躍できる資質能力をもった教員を養成します。

2 各学科の教員養成の目標

<国際地域学科>

国際地域学科は、「国際」と「地域」に関わる専門的学修と充実した英語教育・学習環境を基礎に、中等教育における英語教員として十分な知識・技能と高度な英語力をもつ教員を養成することを目標としています。

グローバル化した国際社会では様々な問題が生じていますが、一方、地域社会自体も国内外の諸地域と双方向的に結びつき、地域の国際化が進行中です。また、国際的共通語としての英語のコミュニケーション能力を身に付けることが現代の非常に重要な課題となっており、新たな英語教育の創造実践が必要とされています。

国際地域学科では、グローバル化の進む国際社会及び地域社会の現状と課題を学際的枠組で学ぶことができる教育課程を最大限に活かし、高度な英語活用能力と異文化理解の視点を持ち、グローバル化する社会に生きる子ども達を育

む中等教育に貢献できる英語科教諭を養成することを目指しています。

＜子ども学科＞

子ども学科は、人間についての深い理解に基づいて、子どもの保育について総合的に研究し、幼稚園の現場で中核として活躍できる教員を養成することを目標としています。

社会の急激な変化のなかで、家庭や地域社会が大きく変貌し、幼稚園には子どもを保育することとともに、子どもの保護者に対する支援や地域の子育て家庭に対する支援を行うことが求められています。また、幼保一体化のなかで、認定こども園が設置され、幼稚園への就職でも幼稚園免許とともに保育士資格が必要なところが増えています。

子ども学科では、こうした現場の課題に応じていくために、幼児教育についての専門的知識・技術に加えて、子育て支援や福祉の知識・技術を学ぶことができる科目等を多く設置し、幼稚園教諭一種免許状とともに保育士資格を取得できるカリキュラムを編成しています。そして、高度化、複雑化する現場の課題に十分に答えることのできる質の高い幼稚園教諭を養成することを目指しています。

＜健康栄養学科＞

健康栄養学科は、人間についての深い理解に基づいて、未来を担う子どもたちの健康の維持増進や生活習慣病の予防に貢献し、「食に関する指導」と「給食管理」を実践し、児童生徒への食育活動の場で、学級担任・養護教諭、家庭や地域等と連携し、課題解決のために幅広く活躍できる栄養教諭を養成することを目標としています。

食生活をはじめとする多くの生活習慣は思春期までに定着し、生活習慣病は子どもの頃から小児生活習慣病として始まることが明らかになってきました。そのため、生活習慣病の予防のためには、子どもの頃からの食育活動が必要であるという認識が高まり、平成17年4月に栄養教諭制度が設けられ、同年7月には食育基本法が施行されました。

健康栄養学科では、学校現場で求められている食育活動に力を発揮できる人材を養成するために、総合的な視点から地域社会における食の実態を把握し、多様な職種と連携しながら食生活の課題を解決していく力を養うことができるカリキュラムを編成しています。その中で、積極的に責務を果たせる志の高い栄養教諭を養成することを目指しています。